○ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの

区分	□ 新　規　　■ 再提案　（H29・4・20第140回総会；茅野市）		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 危機管理建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	林務部
	□ その他	名　　称	

件名	10　信州産ペレット消費拡大事業の拡充について
提案市	佐久市
提案要旨	平成30年度より森のエネルギー推進事業の仕組みを活かした後継事業として、信州産ペレット消費拡大事業が開始されるが、森のエネルギー推進事業と比較して、事業規模が縮小されており、補助率及び補助上限額も下げられている。 引き続き市民からの設置要望があることや、今後も木質バイオマス利用促進を進めていくため、事業規模と補助率及び補助上限額の拡充を要望する。
提案理由	県は本事業の目的を、県内の未利用材の有効活用とエネルギーの地産地消の推進としており、ペレットストーブ設置に対する補助が継続的に行われることが重要と考え、循環型社会の構築を進めている。 本市では、市内居住者、事業所を有する個人または事業者に対して、県補助に市費を上乗せした補助金（上限額15万円）を交付し、ペレットストーブの推進を図っており、今後も一層の普及を図るため、要望台数を満たす事業規模の拡充と、木質バイオマスの更なる利用促進のため、補助率及び補助上限額が森のエネルギー推進事業と同等となるよう予算額の拡充を要望する。
現況及び課題等	本市では、ペレットなどを用いた木質バイオマスの利用により、循環型社会の構築を進めており、また、ペレット製造設備を整備するなど、県産材の有効活用に向け取り組んでいる。 本事業を活用して、ペレットストーブが普及し、木質バイオマスの利用が促進されることで、県内の未利用材の有効活用とエネルギーの地産地消の促進が図られることから、要望台数を満たす事業規模の拡充と、森のエネルギー推進事業と同等の補助率及び補助上限額の確保が必要であると考える。 ●本市の近年の補助要望台数及び補助台数　（単位：台）
関係法令	長野県森のエネルギー推進事業実施要領

年度	県への要望台数	県からの補助台数
27	20	8
28	20	8
29	20	13